

REIMEI

黎明

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.13 新春号



表紙写真提供
(株)あだち電気
(有)パナデン
G&Eかんばにい

CONTENTS

- ・特集／第6回全国会員大会
 - ・理事長挨拶・表彰式
 - ・ご来賓挨拶・基調講演
 - ・パネルディスカッション・情報交換会
- ・理事・監事・三役他 紹介
- ・地区会レポート／中部、近畿・北陸地区

新年のご挨拶

一般社団法人日本PVプランナー協会 理事長 池田真樹



謹んで新春のご祝詞を申し上げます。理事長として初めて新年を迎え、大変引き締まる思いです。今年は協会も新たなステージにステップアップするべく、全国会員大会でもお話させていただいたとおり、設計力の強化・地域との調和・O&Mの推進という3つの主な活動を通して、100年後の地球をよりよいものにする“PV100年構想”へ向け、再生可能エネルギーの普及に尽力することを目指し、活動をおこなっていきます。いままでの大規模発電所の建設やO&Mの技術や情報発信ももちろんのこと、

脱FIT・卒FITの流れを一つの商機と捉え、自家消費型の太陽光発電の提案や、地産地消費のエネルギーのあり方を模索し、2019年問題といわれる住宅の補助金が切れる53万人以上の方に対するサービス、新しいスキームの提案ができるセミナー開催などもおこなっていきます。またすでに全国に広がりを見せるソーラーシェアリングですが、架台強度の問題はまだまだ解決しておらず、協会として標準化できるよう努めてまいります。今年は私の生まれ年の亥年です。イノシシのように目標達成に向けて邁進したいと考えていますので、本年も皆様のお力添えのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

2018年度 安全スローガン

『まず無くそう だろうまさかの 思い込み』

(株)林電機商会 梶田 尚宏 作

今回より、安全スローガンを会員企業の社内コンペとして募集したところ、72首の応募がありました。優秀作品を7首選出し、その中から、2018年度の安全スローガンを決定しました。第6回全国会員大会では優秀作品の発表と、

安全スローガンの表彰を行いました。今後は、安全スローガンの社内コンペ募集を、年間通じて行うことで会員企業の皆様には施工作業の安全を意識していただけたら幸いです。

事務局だより

昭和30年+平成30年、合せて今年3月で還暦、めだくも60才となります。十二支と十干が60年で一回りし、一巡することから「元の暦に還る＝すなわち還暦」というらしい。まあ、僕らが若いころの60才よりも、今の60才の方が10才は若い！そう思い込み、還暦になったなら、50才宣言をしようかと思っている。どうも先に還暦になった同期に会うと、還暦になったからなあ、という言葉が多すぎる。日本は言霊の国なので、ここは声高らかに宣言することで、気持ちから若返りたい。もちろん、無理のな

い毎日のトレーニングを続けながら心身ともに若返ろうと思っている。皆様も、猪年にちなみ、家族を大事に、そして変革の時代だからこそ、常に前に進んでいただき、素晴らしい一年になりますように願っております。大槻



90年ものカップです

お問い合わせは…



一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18
日総第18ビル 715号室
TEL: 045-594-8015 / FAX: 045-594-8016
Web <http://pv-planner.jp>
Mail otoiawase@pv-planner.jp

制作・編集：(株)電設出版

SHIN EI

太陽光発電メンテナンス測定器

ストリングの不良診断



新製品

PV レジスタンス チェッカ

PVR-1000

測定
1秒!

定価 ¥138,000 (税別)



内部抵抗値でストリング診断

正常	不良初期	発電異常																																													
<table border="1"> <tr><td>No</td><td>抵抗値 (Ω)</td><td>電圧 (V)</td></tr> <tr><td>A002</td><td>57</td><td>266.7</td></tr> <tr><td>A003</td><td>10</td><td>266.4</td></tr> <tr><td>A004</td><td>3/2000</td><td></td></tr> <tr><td>10Ω</td><td>266.5V</td><td></td></tr> </table>	No	抵抗値 (Ω)	電圧 (V)	A002	57	266.7	A003	10	266.4	A004	3/2000		10Ω	266.5V		<table border="1"> <tr><td>No</td><td>抵抗値 (Ω)</td><td>電圧 (V)</td></tr> <tr><td>A003</td><td>10</td><td>266.4</td></tr> <tr><td>A004</td><td>10</td><td>266.5</td></tr> <tr><td>B001</td><td>4/2000</td><td></td></tr> <tr><td>567Ω</td><td>265.4V</td><td></td></tr> </table>	No	抵抗値 (Ω)	電圧 (V)	A003	10	266.4	A004	10	266.5	B001	4/2000		567Ω	265.4V		<table border="1"> <tr><td>No</td><td>抵抗値 (Ω)</td><td>電圧 (V)</td></tr> <tr><td>A004</td><td>10</td><td>266.5</td></tr> <tr><td>B001</td><td>567</td><td>265.4</td></tr> <tr><td>B002</td><td>5/2000</td><td></td></tr> <tr><td>>1000Ω</td><td>265.6V</td><td></td></tr> </table>	No	抵抗値 (Ω)	電圧 (V)	A004	10	266.5	B001	567	265.4	B002	5/2000		>1000Ω	265.6V	
No	抵抗値 (Ω)	電圧 (V)																																													
A002	57	266.7																																													
A003	10	266.4																																													
A004	3/2000																																														
10Ω	266.5V																																														
No	抵抗値 (Ω)	電圧 (V)																																													
A003	10	266.4																																													
A004	10	266.5																																													
B001	4/2000																																														
567Ω	265.4V																																														
No	抵抗値 (Ω)	電圧 (V)																																													
A004	10	266.5																																													
B001	567	265.4																																													
B002	5/2000																																														
>1000Ω	265.6V																																														

※判定値は変更できます。開放電圧は、カラー判定しません。

NO-GO
判定

2000件
保存

USB
管理

650g

モジュールの性能診断



I-Vカーブトレサ

IVH-2000Z

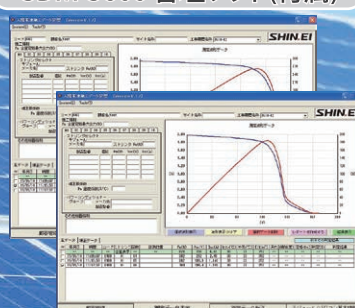
測定
1秒!

定価 ¥450,000 (税別)

I-V 比較測定



SDM-3600 管理ソフト(付属)



I-V
カーブ

解析
ソフト

日射計
付属品

1.4kg

日射・温度計(付属)

新栄電子計測器株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2636
TEL 0466-88-3030 FAX 0466-87-0627

SHIN EI

<http://www.shin-ei.ne.jp>

第6回全国会員大会

2018年11月16日、「第6回全国会員大会」が東京・渋谷シダックスカルチャーホールで開催されました。130名にもおよぶ来場者となり、基調講演も大変好評で大盛況となりました。

理事長挨拶

脱FIT後、日本PVプランナー協会のミッション

理事長 池田真樹



日本PVプランナー協会の今後のミッションを述べさせていただきます。太陽光発電をとりまく環境は大きく変わってきています。FIT価格は下落し、撤退発電事業者も出てきています。また、現場ではさまざまな不具合がおきていて、地域住民との問題も後をたちません。昨今の自然災害では大きな被害も出てしまいました。

国の第5次エネルギー基本計画では再生可能エネルギーの主力電源化を目指すと発表されました。未

来においては再生可能エネルギーが必要と国が決めたといえます。当協会ではこの思いを担っていく覚悟です。一部の事業者による配慮不足、努力不足が業界そのものをだめにしてしまうという危機感があります。そうならないためにも、当協会はさらなる勉強をし、経験を積んで、以下の3点をミッションとしていくことを宣言します。

- ・「設計力の強化」～長期的な信頼性の向上
- ・「地域との調和」～地域住民の方々との関係性を築く
- ・「O&M」～メンテナンスの強化、不具合の早期発見

地球温暖化問題により世界は再生可能エネルギーに注目しています。太陽光発電は世界を明るい未来に導いていくと確信しています。脱FIT後、自家消費などに代表されるこれからの普及モデルのマーケットの創出、事業拡大に努めていきます。

PV100年構想に寄り添い100年後の地球がもっと住みやすい星になるように努力を惜しまない所存です。

表彰式



安全スローガンは
「まず無くそう
だろうまさかの
思い込み」

安全スローガン賞

(株)林電機商会 (中部エリア会員)
梶田尚宏氏



最優秀会員賞

G&Eかんばんに (中部エリア会員)
恩田 誠氏

最優秀賞は各地区会表彰者の中から特に地区会活動への貢献が著しかった協会員を表彰

ご来賓挨拶

系統問題の解消、法整備などの取り組みを行う

経済産業省 資源エネルギー庁
新エネルギー課
再生可能エネルギー推進室 室長
杉山佳弘氏

国が示すエネルギーミックスでは再生可能エネルギー6,400万kwの達成が目標です。FITの認定量は7,500万kwを超えているが、5割の発電所は稼働していないのが実態です。賦課金は安く、という制約がある中で、再生可能エネルギーをわが国の主力電源にするという目標に向かって系統問題の解消、法整備などの取り組みをしていきたいと考えております。本日お集まりの皆様とともに努力してまいります。



地域分散型で自立した太陽光発電へ

環境省 地球環境局
地球温暖化対策課 課長
奥山祐矢氏

環境省といたしましては、地域を中心とした再生可能エネルギーの導入を行い、社会・環境・経済の問題を解決していくことを目指しています。これからの太陽光発電は地域分散型で自立していることが理想であると考えています。日本PVブレンダー協会の会員の皆様はまさにその主役といってよいと思います。環境省とは同じ方向を向いています。ぜひご協力よろしくお願い致します。



発電と営農が融合した形の新たなビジネスチャンス

農林水産省 食料産業局
バイオマス循環資源課
再生可能エネルギー室 室長
鎌田知也氏

大規模再生可能エネルギー設備の立地適地は減少しています。用地の確保、地域との調整、近隣の理解など、農林水産省では円滑な事業展開を後押ししています。今年5月にソーラーシェアリングについて農地の転用、期間延長など大幅な促進策を発表致しました。ソーラーシェアリングは環境に優しい技術です。農林水産省としては一層促進していきたいと思っています。発電と営農が融合した形の新たなビジネスチャンスが広がっていくよう努力を惜しまない所存です。



基調講演

「主力電源となる太陽光発電の今後の基軸 ～ 2030 年、PV150GW の導入の実現に向けて～」

(株)資源総合システム
代表取締役社長 一木 修氏



太陽光発電に関する開発は予測をはるかに上回るスピードで進展しています。この業界は主力電源を目指す発想から、主力電源として責任を担う発想に転換すべきだと思います。基幹エネルギーを前提としての施策をどうするかという状況になっています。

経済産業省における再生可能エネルギーの今後の基軸の柱は二つ「主力電源化」→発電コストと事業環境、「次世代ネットワークの構築」→系統制約と調整力です。しかし太陽光は2020年には目標の64GWの到達が予想されますので、さらに掘り下げた基軸が必要になってきます。これからは電力需要のあるところに発電所を置き、地産地消型となっていくでしょう。産業としていかに強くしていけるかという産業の基幹化があって、はじめて太陽光発電を支えることができるのではないのでしょうか。これからは小規模建物や空き地、駐車場を中心とする低圧容量が新規の市場となっていきます。そして、地域分散型の電力流通システムの時代となります。PV150GWの時代がやってきます。実現のためには「低コスト化」「安定電源化」「付加価値の追求」の連動が必要で、発電産業として展開していくことが大事です。太陽光発電システムは社会基盤チェンジャーとなると予想されます。分散型電源化が日本の太陽光発電の発展のキーワードなのです。

「脱炭素化に向けた動きと太陽光発電等の再省蓄エネを生かした地域の活性化」

環境省 地球環境局
地球温暖化対策課 課長
奥山祐矢氏

地球温暖化は確実に環境変化を引き起こしています。これにともない気候変動対策への投資、循環資源に対する投資など脱炭素市場が広がりを見せています。RE100（再エネ100%の事業運営）などに見られる企業の事業転換も起こっています。脱炭素経営をみきわめながら投資を行うESG投資など、世界ではその規模は大きく拡大しているのが現実です。

こういった流れがある中で、一体われわれはどのような社会を目指すべきなのか。国は「地域循環共生圏」という概念を提唱しました。都市も農山漁村も資金・人材・サービスをやり取りして相互補完をしながら自立・成長していく。そういった社会を作っていくということが、経済・社会・環境問題の同時解決につながっていくのではないかと考えます。



また一方、再生可能エネルギーを主力エネルギー源にすることで日本経済・地域経済にメリットがあります。それには再生可能エネルギーを使いこなす創・省・蓄エネシステムの拡大・推進を図っていかないと考えています。将来的には、これにともない再エネの環境価値が高まり、環境取引の活発化に期待しています。

基調講演

「環境価値実証事業とデジタルグリッドの今後の展開について」

デジタルグリッド(株)
代表取締役会長 阿部力也氏



当社は「エネルギーの民主化を通じて人類を豊かにする」というミッションを掲げています。再生可能エネルギーで得た電力を融通し合う社会です。実際に小規模ではありますが、デジタルグリッドル

タ（非同期連系装置）と電力融通決済システムの実証をある地域で行っています。非同期連系とは、違う種類の電気が自由自在に行き来できるようにする装置です。

北海道のブラックアウトは記憶に新しいところです。北海道は電源系統が単一になっていて、これがブラックアウトの原因の一つといわれています。自立可能でゆるやかに融通し合う需給バランスをとったセルグリッドへの転換が必要なのではないかと思

います。これからは、電力売買は契約や予約で売れたものだけを作る、出力抑制を自らがする時代になります。デジタルグリッド技術を活用し「電力融通」「電力識別」サービスが実現し、すべてのやり取りが記録されるようになります。これにより、電力需要予測をすることで電力の売り買いが活発化すると予想されます。いずれは前払い「トークン」で決済できるようになると期待しています。

パネルディスカッション

「都市近郊におけるソーラーシェアリングについて」

【モデレーター】
千葉エコ・エネルギー(株) 代表取締役 馬上丈司氏

【パネラー】
農林水産省 再生可能エネルギー室 室長 鎌田知也氏
城南信用金庫 顧問 吉原 毅氏
(株)横浜環境デザイン 代表取締役社長 池田真樹氏



人口が集中しているエリア近くの農地におけるソーラーシェアリングは、エネルギーの需要地に近い、農作物の販売がしやすい、分散型電源として重要性がある、などメリットと可能性が大きいとの発

言がありました。それ以外に法制度上の農地の種類、自然環境の保全、コミュニティの形成、食物工場、補助金などのテーマが討議されました。



情報交換会



全国会員大会終了後は、渋谷東武ホテルに場所を移し、恒例の情報交換会を開催いたしました。

参加者のうち100名ほどの方にご参加いただきました。登壇者様やご来賓にもご参加いただいたことで、懇親だけではなくしっかりした情報交換がで

きたかと思います。

また、今回はイリュージョニストのアリスさんに来ていただきました。テーブルマジックやステージマジックなど4か所、皆様の目の前でショーをしていただき、楽しんでいただけたと思います。



2019年 地区会セミナー開催方針

エネルギー革命が始まりつつある中、FIT による再エネ普及につづいて新しい風としての脱 FIT…すなわち CO2削減のための再エネ普及が新たに始まろうとしております。

第6回全国会員大会はそのようなテーマに沿って基調講演を行い、そして基調講演から導かれた会員企業の仕事につながるセミナーを各地の地区会にて展開してまいります。

- (1) 産業用自家消費モデルの技術と企業への販売手法の確立
- (2) 農地ソーラーシェアリングの新たな試み～企業との連携
- (3) SDGs や RE100 を進める自治体や企業とのコラボ情報
- (4) 住宅太陽光の新たな販売手法の提供

2018年10月26日定時代議員総会にて 新しい理事・監事ならびに三役他が 承認されました

2018年度～2019年度（任期：2018年10月26日～2020年10月）

理事長

(株)横浜環境デザイン
代表取締役社長
池田 真樹



名誉会長・理事

(株)林電機商会
代表取締役
林 浩司



副理事長

重機商工(株)
常務取締役
城所 博



副理事長

(有)ボデーワークス
取締役
西口 豪昭



副理事長

(有)ヤマモト運送
専務取締役
山元 広大



専務理事

タキマテック(株)
代表取締役
小瀧 真人



常務理事・事務局長

プランドウ
コーポレーション
代表
大槻 浩之



理事

(株)イーステージ
専務取締役
石丸 貴樹



理事

(株)サステナ
代表取締役
小田島 龍一



理事

(株)サンエイ
エコホーム
代表取締役
武中 進



理事

エナジーソリュー
ションズ(株)
代表取締役社長
森上 寿生



監事

(一社)日本太陽
エネルギー学会
名誉会長
太和田 善久



監事

(株)戸上電機製作所
マネージャー
吉富 行雄



名誉顧問

(株)タデック
代表取締役
竹内 政隆



EMA認定センター長

(株)舟山コンサル
ティンググループ
代表取締役社長
舟山 大器



顧問（EMA講師）

Wawa企画
代表
古川 幸司



顧問

再生電源開発(株)
代表取締役
関口 剛



事務局



原 翼



葭谷 温子

地区会レポート

名古屋編 (2018年12月7日)

可動式水田ソーラーシェアリング 見学会報告&電気工事から見た 産業用自家消費設備の実例報告

—中部地区会—

最初に、11月2日長野県上田市にて開催された中部地区会「可動式水田ソーラーシェアリング見学会」の見学会映像とセミナー映像の上映会を行いました。この可動式水田ソーラーシェアリングは、遠隔操作による可動部の自動制御と手動制御が可能なことや、新JIS2017に対応した架台など、いくつかの優れた特徴があります。映像を



会員証授与：(株)MGプラン 渡邊様 (右)

観た参加者からは「聞くと観るのとではずいぶん違う!」といった感想も。

次いで事務局から、2019年地区会の三大テーマ「自家消費・ソーラーシェアリング・低

圧発電所O&M推進」について概要を説明。春の地区会から自家消費の提案書作りセミナーなどを開催していく予定です。

最後に、(株)林電機商会 代表取締役 林氏による「電気工事から見た産業用自家消費設備の実例報告」のセミナーが行われ、電気工事という観点から3件の施工実例を紹介。キュービクルに設置するOVGRや、逆流防止に用いるRPR等の解説には、多くの参加者が興味深く耳を傾けていました。また、電気工事の知識に乏しい太陽光発電設備施工業者による電気工事の失敗例も報告されるなど、大変有意義な内容となりました。

セミナー終了後、新入会員の(株)MGプラン 代表取締役 渡邊様へ、恩田エリアマネージャーより会員証が授与されました。



セミナーの様子

大阪編 (2018年12月14日開催)

これからの ソーラーシェアリングの展開 ～ソーラーシェアリング/営農型太陽光 発電の拡大に向けて～

—近畿・北陸地区会—

今回の近畿・北陸地区会は、ソーラーシェアリングの第一人者である千葉エコ・エネルギー(株)代表取締役の馬上丈司氏を講師にお招きし、師走の大阪で開催いたしました。

「農業を化石燃料から解放する」を目的として、馬上講師が立ち上げた「アグリ・エナジー・プロジェクト」の実例紹介は、エネルギーと農作物を共に生み出す、新しい形の農業の紹介であり、今



ソーラーシェアリング (写真提供：千葉エコ・エネルギー(株))

後卒FITを迎え、再生可能エネルギーの質が問われていく中、どのような電源が求められ、それをどのように事業に活かしていくかの指針となるセミナーとなりました。

また、2018年5月に30農振第78号で変更になった営農型太陽光発電の農地転用許可上の取扱いのポイントを説明していただいたことで、ソーラーシェアリングの制度について再確認できました。

さらには、アジアでも急速に興味が高まっているソーラーシェアリングを含む再生可能エネルギーについての情報もお話いただきました。

質疑応答ではソーラーシェアリングの遮光率、設計のトレンド、RE100と電源確保、ファイナンスの現状にまで話がおよび、有意義な地区会となりました。

セミナー後の忘年会でも忌憚ない対話の時間を共有し、来年の商売繁盛と健康を願いつつ、お開きとなりました。



セミナーの様子

東洋計測器株式会社
計測器ランド

秋葉原の計測器総合商社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル

電話：03-3255-8038

http://www.keisokuki-land.co.jp

———下記製品はコチラでお求めいただけます! 「はかる」事ならワンストップサービスの計測器ランドへ———

FIT法改正

<< 太陽光発電の点検・調査に使用する計測機器・例 >>



I-Vカーブトレーサ
HIOKI FT4300
<タブレットで簡単操作>

バイパスダイオードテスタ
HIOKI FT4310
<昼でも測定可能>



絶縁抵抗計
HIOKI IR4055-11
<PVモード搭載・4秒測定>



電源品質アナライザ
HIOKI PQ3100-92
<使用前点検時の
波形・高調波測定に>



クランプ式電流計
HIOKI CM4371
<タフ・高速・多機能クランプ>



マルチメータ
HIOKI DT4254
<世界最速・安全測定>



接地抵抗計
HIOKI FT6031-03
<防塵・防水・ワンブッシュ>



検電器
HIOKI 3481
<光と音で安全検電>



サーモグラフィ
FLUKE TIS10



ラインチェッカ
戸上電機製作所 TLC-C



EL測定：西進商事
Solar EL Explorer

校正とは

東洋テック株式会社

計測器の校正受託

計測のよりどころは計測機器です。計測機器がズレていれば、計測結果は正しくありません。計測機器は精密な電子製品。国家の標準に照し合せ、計測機器がズレていない事を監視する。それが校正です。東洋テック(株)におまかせください。「高品質」「短納期」「低価格」を実現します。

http://www.toyotech.co.jp

■東京キャリアレーションセンター 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル 電話：03-3251-8676

■浜松キャリアレーションセンター 〒435-0048 静岡県浜松市東区上西町60-3 電話：053-465-5800

■九州キャリアレーションセンター 〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王1-6-18 電話：092-409-5459

※これらの映像+資料は協会HPより視聴+ダウンロードが可能となっています。社内研修や社内事業検討にお役立てください。